

連続シリーズ スクールソーシャルワークの手法に学ぶソーシャルワーク実践

「包括的アセスメントにはじまる支援デザイン」

子どもを取り巻く環境は、家庭環境、学校環境、地域環境、社会環境などからなる重層的・複層的な構造です。

ジェネラリスト・ソーシャルワークをベースとしたスクールソーシャルワーク実践でのアセスメントでは、全体を俯瞰し、環境と子どもの関係性を包括的に見立てていくことが求められます。

そして子どもを中心とした環境とのより良い関係性、より良い状況を、環境を巻き込みデザインしていきます。

地域共生社会の実現に向けたソーシャルワークの機能と、ソーシャルワーカーの役割をみなさんと共有する研修を企画しました。ぜひご参加ください。

研修講師

佐々木千里氏



＜プロフィール＞

立命館大学産業社会学部、非常勤講師、愛知県立大学大学院人間発達学研究科非常勤講師、複数の自治体でスクールソーシャルワーカースーパーバイザー、元公立中学校教諭

著書『子どもへの気づきがつながる「チーム学校」』『子どもの貧困に向き合える学校づくり』『地域共生社会に向けたソーシャルワーク—社会福祉士による実践事例から—』

(H30年10月発行) ほか

配信日時 2020年10月4日(日) 10:00~12:00

参加者 鳥取県社会福祉士会会員 入会手続き中の方
鳥根県社会福祉士会会員(子ども家庭委員会)
鳥取県内の現任スクールソーシャルワーカー

参加費 無料

お申込み 一般社団法人鳥取県社会福祉士会ホームページ「研修申し込みフォーム」より9月30日(水)までにお申し込みください。オンライン研修会のミーティングID・パスワードは、10月2日(金)15時頃に連絡先メールアドレスに送信させていただきます。



一般社団法人

鳥取県社会福祉士会

Tottori Association of Certified Social Workers

